

五十鈴の風

平成29年7月発行
発行：市立伊勢総合病院

安心していただける医療を



- 新任医師の紹介 ······ よろしくお願いします
- 院内各科紹介 ······ 健診センター
- 院内部署シリーズ ······ リハビリテーション室
- 看護部シリーズ ······ 集中ケア認定看護師とは
- 健康メモ ······ 認知症への対策
- 院内トピックス ······ 高柳の夜店「伊勢病院の日」を開催
新病院建設工事の進捗状況
- 栄養管理室だより ······ フルーツたっぷりレモンゼリー



新病院建設工事現場（7月3日 撮影）

事務局だより

皆様から『五十鈴の風』の表紙を飾る写真を募集しています。広報図書委員会事務局(総務課 小林)までお願いします。

市立伊勢総合病院理念

***** 人間性豊かな市民病院 *****
～市民の健康増進、生活の質の向上を目指して～
～愛情と誇りを持てる病院を目指して～

新任医師の紹介



とよかわ かつひさ
豊川 勝久 (初期研修医)

よろしく
お願いします

出身地：大阪府 出身大学：近畿大学

特技/趣味：料理 尊敬する人：和田淨史先生

一言：初めまして豊川勝久と申します。尊敬する和田先生はQOL（生活の質、生命の質）とはハッピーであることで、治療するだけで向上するのではなくと伝えていました。患者さんにハッピーになって頂くためには医療者と患者さんがお互いのことをよく知っている必要があると思いますので、話しかけてもらえたならすごく嬉しいです。よろしくお願いします。



たにぐち あきと
谷口 彰人 (初期研修医)

出身地：志摩市阿児町 出身大学：三重大学

特技/趣味：JAZZ、サッカー観戦 マイブーム：燻製作り

一言：4月より研修医として働かせていただいている谷口彰人です。隣の伊勢高校に通っていたので、第2のふるさとに帰ってきたような気持ちです。その地で社会人としてのスタートを切ることをうれしく思います。御指導よろしくお願いします。

院内各科紹介 健診センター



健康で明るい毎日を過ごすためには、健康状態を定期的にチェックし、がんや生活習慣病など、各種疾患の早期発見・早期治療を行うことが大切です。健診センターは、健診サービスの充実を図るとともに受診された皆様方の安心と満足度の向上を目指して取り組んでいます。

検査は、消化器センター や放射線部門、臨床検査部門などと連携し、的確な検

査を提供しています。また医師の診察では、前回の結果との比較や希望者には当日の検査の結果説明を行います（当日結果が出ている項目のみ）。画像や健診結果はダブルチェックを行い、結果票は2週間ほどでお届けしています。

受診者の方からは「医師やスタッフの対応が優しい、親切で良かった」などのお声をたくさんいただいています。また、快適に健診を受診していただけるよう、受診者やスタッフを女性に限定した「レディースデー」（毎年3月に実施）は好評をいただいています。

今後とも病院に併設されているメリットを生かしながら、安心して快適に受診ができる環境づくりと、質の高い健診機関を目指してスタッフ一同日々努力をしていきます。当センターを皆様の健康づくりに是非お役立てください。

● 健診に関するお問い合わせは、健診センターまで（電話 23-5416）



リハビリテーション室は、理学療法士15名、作業療法士6名、言語聴覚士2名のスタッフで患者様のリハビリテーションを支援させていただいております。

リハビリテーションは、患者様の社会生活を再構築することを目標として、起き上がる、立つ、歩くなどの基本的な動作や、日常生活に必要な動作や家事などの応用的な動作、コミュニケーションや食べる能力の再獲得を目指します。さらに、必要とされる患者様に対しては、ケアマネージャーと連携し住宅改修や介護・福祉用具のご提案もいたします。

当院では、主治医、リハビリテーション科医、看護師などの多職種と連携し、病気やケガの急性期から回復期、維持期にわたり365日切れ目なくリハビリを提供できる体制を整えております。また、リハビリを集中的に2時間以上、毎日行うことができる回復期リハビリテーション病棟を平成26年9月に開設し、昨年8月より他病院からの紹介患者様も入棟していただけるようになりました。

今後も、患者様の思いに寄り添い、住み慣れた地域で良質なリハビリテーション医療を受けていただけるよう努めてまいります。

(リハビリテーション室 室長 山本 良次)

看護部シリーズ

集中ケア認定看護師とは



看護師という仕事は、常に生死と向き合う患者様に関わる重要な役割があると日々、実感しています。仕事をしていく中でさらに知識・技術を高め、患者様によりよい看護を提供できる看護師になりたいと思い、日本看護協会が認定している認定看護師(Certified Nurse)を目指すことにしました。現在、日本看護協会が定める認定看護師は21分野あります。私は、自身の看護経験の中で生命の危機的状況にある患者・家族様に関わる事に重要さを感じ、職場スタッフや周囲のたくさんの方に支えていただき、2012年に集中ケア認定看護師資格を取得しました。

集中ケア分野における役割は、①生命の危機状態にある患者様の状態変化を予測した重篤化の予防 ②長期入院による二次的合併症(廃用症候群)の予防および回復のための早期リハビリテーション実施があります。

私は現在、3東病棟(HCU)で勤務しています。救急車で来院された方や入院中に状態が悪化した方などの看護に携わらせていただいている。心身ともに大変な状況にいる患者・家族様が少しでも早く回復し、元の生活に戻れるように自身の役割を十分に発揮したいと思います。患者・家族様によりよい医療を提供するためにはチーム医療を充実することが重要となります。日々の業務の中で積極的に他職種とも連携し、カンファレンスを通して、患者様一人一人に合った看護を展開していきたいです。そのためにも私達看護師一人一人がケアに根拠を持って看護が提供できるよう、積極的に学習会等を実施し、看護の質の向上に努めていきたいと思います。

(3東病棟 鈴木 順子)

健康メモ

認知症への対策



「認知症」とは記憶力や見当識（けんとうしき：時間・場所・人に対する認識）などの脳機能が低下した状態のことを表しており、これ自体が単独の病気の名前ではありません。認知症を起こす病気は多岐にわたり、それぞれ原因も対処方法も異なっています。

最も有名なのはアルツハイマー病かと思いますが、これは脳のうち記憶に関わる領域などが性質を変えて徐々に働きを失ってしまう病気です。残念ながら今の医学では完全に治したり進行を止めることはできませんが、記憶力の低下に対していくつかの薬が有用です。妄想や抑うつなどを伴った場合にも環境調整や薬剤による対処を行います。他に頻度の多いものとしては血管性認知症とレビー小体型認知症と呼ばれるものがあります。前者は脳梗塞を繰り返していく中で認知症が進行してくる病気で、高血圧・糖尿病などの治療を適切に行なうことが重要です。後者はパーキンソン病に似た症状・リアルな幻覚・睡眠中の異常行動などを伴うことが多く、パーキンソン病に準じた薬を併用することがあります。

この他にも多くの病気がありますが、重要な事はその中に「治る認知症」がいくつも含まれていることです。例えば正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫は脳の周りに髄液や血液がたまることで認知症を起こしますが、これらは手術により改善が見込める病気です。また、痙攣を伴わないようなどんかん発作、甲状腺などの内臓の病気、薬の副作用、せん妄と呼ばれる状態も認知症と同じような症状を起こすことがあります。これらも適切な治療により改善が期待できます。

私たち神経内科医は患者さんやご家族からお話を聞いて診察を行い、必要に応じて検査を追加することでこのような病気の診断・治療を行っています。お心当たりのある方は是非一度受診してみてはいかがでしょうか。

（神経内科 医師 西口 大和）

院内トピックス

高柳の夜店『伊勢病院の日』を開催



6月10日(土)、6月24日(土)は、高柳の夜店に「伊勢病院の日」として出店しました。

ブースでは伊勢病院看護部のキャラクター伊勢野こころちゃんの大きな看板を用意してお出迎え。

看護相談や血圧測定、栄養相談、新病院模型展示などを企画しました。

お子様たちは子供用白衣を着て、なりきり写真をとったり、夏の夜を楽しく過ごしていただけたと思います。

担当した職員も地域の皆さんから貴重なご意見をいただき、やはり、人の力って大きいなど感じることができました。

地域の皆さんに安心を与えられる、頼りにされる、そんな病院を目指したいと思いました。

「伊勢病院の日」にお越し頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

院内トピックス

新病院建設工事の進捗状況

現在施工中の新病院建設工事について進捗状況をお知らせします。本年1月から病院棟を支えるための基礎工事を進め、下層階から少しづつ形になってきています。

タワークレーンも3基が同時稼動し、高層階の工事を進めるための準備が順調に進んでいる状況です。

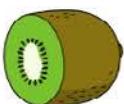
今後、本年の秋頃までに高層階まで外装工事を進め、年内中に約5割程度の工程を終える予定です。今後も安全第一に工事を進めてまいります。

総務課 新病院建設係

栄養管理室だより 栄養士おすすめメニュー



フルーツたっぷりレモンゼリー



夏は、暑さから冷たい物の飲みすぎや素麺など炭水化物に偏った食生活になりやすく、「からだのだるさ」や「食欲がない」などの夏バテに注意が必要です。予防のために、こまめな水分補給やバランスの良い食生活を心がけましょう。

炭水化物をエネルギーに変えるために必要な「ビタミンB1」、ビタミンB1の吸収を高める「アリシン」、疲労の原因になる乳酸の分解に役立つ「クエン酸」を摂ることをおすすめします。ビタミンB1は豚肉やうなぎなどに、アリシンはにんにくやねぎなどに、クエン酸はレモンやオレンジ、酢などに多く含まれています。

今回は、レモンを使用した“フルーツたっぷりレモンゼリー”をご紹介します。

材 料(2人分)

- 水 200cc
- 粉寒天 1g
- 砂糖 大さじ3
- レモンの絞り汁 大さじ1
- オレンジ 1/6個
- キウイフルーツ 1/4個
- すいか(ミニスプーンで丸くくり抜いたもの) ... 4個



<1人分の栄養価> *エネルギー 72kcal *たんぱく質 0.5 g

作り方(レシピ)

- ① 鍋に水と粉寒天を入れ、混ぜながら火にかけて煮立たせる。
- ② 寒天が溶けたら、砂糖を加えて煮溶かす。
- ③ 砂糖が溶けたら火を止めて、レモンの絞り汁を加え、粗熱をとる。
- ④ グラスに食べやすい大きさに切ったオレンジ、キウイフルーツ、すいかを入れて、
③のゼリー液を注ぎ冷蔵庫で冷やす。

